

# 感染性胃腸炎に注意！

～感染性胃腸炎は季節を問わずいつでも発症する可能性があります～

## どんな病気？

- ・ウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称で、原因ウイルスは「ノロウイルス」「ロタウイルス」など複数あります。
- ・通常は軽症で回復しますが、**子どもや高齢者では症状が重症化**することがあります。
- ・感染力が強く、わずかなウイルスが体内に入るだけで感染するため、家族間や施設内で感染が広がる可能性があります。

## こんな症状に注意！



嘔吐



下痢



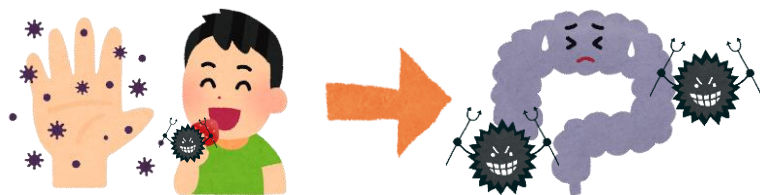
発熱



下痢や嘔吐が続くと脱水症状を引き起こす可能性があります。  
症状があるときは無理に登園せず、病院受診をしましょう。

## どうやって感染するの？

手指を介してウイルスが口に入る、もしくは乾燥して空気中に舞い上がったウイルスがほこりなどと一緒に口に入ることで、腸で増殖し症状を引き起こします。



## 感染性胃腸炎には次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が有効

- ・市販されている塩素系漂白剤（ハイター・ブリーチなど）が使用できます。
- ・消毒時に噴霧をするとウイルスが舞い上がる危険があるので、必ずペーパーに浸してふき取りをしましょう。

感染性胃腸炎には**アルコール系の消毒液は効果がありません！**



# 感染性胃腸炎の予防方法

## 基本は手洗い！

・外出先から戻ってきた時、食事の前、トイレに行った後、おむつ交換をした後など、石鹸と流水でよく手を洗いましょう。タオルの共用はやめましょう。

## 便や嘔吐物の処理は確実に！

- ・処理をするときは、使い捨ての手袋・エプロン・マスクを着用しましょう。
- ・使い捨ての布やペーパータオルを使い、ウイルスが飛び散らないように外側から内側に向けてふき取ります。
- ・次に**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）**を染み込ませたペーパータオルで浸すように拭き、10分後に水拭きをします。
- ・処理後は窓を開けるなど十分な換気を行い、手洗いをしましょう。
- ・使用したペーパータオル、手袋、おむつなどはすぐにビニール袋に入れて密閉して捨てましょう。







## 便や嘔吐物で汚れた衣類の取扱い注意！

- ・汚れた衣類やシーツなどは、消毒液に30分ひたした後、他の衣類とは別に洗いましょう。
- ・85度以上の熱湯に1分間以上浸す方法もあります。

## 汚れたおそれのある場所の消毒を！

- ・下痢の症状がある人がいる場合は、トイレ、手洗いの蛇口、ドアノブ、手すりなどを、消毒液を染み込ませたペーパーなどで1日数回定期的に消毒をしましょう。

## 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を使った消毒液の作り方 ～500mlのペットボトルを使う場合～

0.1% (1,000ppm) 消毒液	0.02% (200ppm) 消毒液
<ul style="list-style-type: none"><li>・便や嘔吐物で汚れた場所（床・トイレなど）の消毒</li><li>・汚れた衣類のつけおき消毒</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・おもちゃ、調理器具、食器のつけおき消毒</li><li>・ドアノブ、手すり、蛇口など直接手で触れる場所のふき取り消毒</li></ul>
500mlの水道水  + ペットボトルのキャップ2杯（10ml）の原液 	1,000mlの水道水  + ペットボトルのキャップ1杯弱（4ml）の原液 

- ・塩素系消毒液は金属にサビをおこす作用があります。ふき取る部分の材質が金属の場合は、10分程時間を置いてから水拭きしてください。
- ・皮膚への刺激が強いため、直接触れないよう手袋を使用してください。
- ・酸性のものと絶対に混ぜないでください。
- ・間違っても飲まないよう、ペットボトルの取扱いには注意しましょう。
- ・薄めた消毒液は、時間が経過すると効果が減少していきます。作り置きには適しません。
- ・原液は冷暗所に保管しましょう。